

アジア諸国における食品バリューチェーン構築による 食品関連産業の品質向上のための人材育成事業 [新規] 【26(0)百万円】

対策のポイント

食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等、技術や知識の普及・定着を図り、フードバリューチェーン（FVC）の構築を促進します。

<背景/課題>

- ・これまで我が国は、途上国に対してFVCの重要性を普及するための人材育成事業等を実施してきており、高い評価を受けています。しかし、現場レベルで中核となる技術者や制度面のサポートが不足しており、我が国の食品産業の海外展開等に結びついていません。
- ・今後FVCの構築を一層促進・展開していくためには、各国の自発的かつ持続的な取組が必要となっており、その土台として、現場レベルでFVCを実践する者を指導・養成していく中核的な技術者等の育成や、効果的な研修システムの整備が求められています。

政策目標

アジア各国で食品関連産業の品質向上に資する高度な知識を持った技術者を育成する。

<主な内容>

食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等の普及定着などの課題に対応するため、各国において現場レベルでFVCを実践する者を指導・養成していく中核となる技術者を対象とした研修を行います。

1. 本邦研修事業

12(0)百万円

対象者を日本に招へいし、先進的なコールドチェーンなどの実態や高水準な品質管理の取組み等を学ぶ機会を提供するとともに、研修者間で各国の開発状況に応じた課題を議論するための研修を実施します。

2. 被援助国内研修事業

14(0)百万円

対象国に日本から技術的専門家を派遣するとともに、HACCP、ISO22000やトレーサビリティシステム等の食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等、FVCの各段階において各国が具体的に必要とする技術や留意点及び整備が必要となる制度・規制等を習得するワークショップ等を開催します。

〔 拠出先：アジア生産性機構（APO）
事業実施期間：平成30年度～平成32年度 〕

〔 お問い合わせ先：
大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
国際機構グループ (03-3502-8497) 〕

アジア諸国における食品バリューチェーン構築による 食品関連産業の品質向上のための人材育成事業

事業概要・目的

これまでの成果・課題

【成果】これまで我が国は、途上国に対してFVCの重要性等を普及するための人材育成事業等を実施。その結果、複数国において協力対話が始まるなど一定の成果が出てきており、高い評価を受けている。

【課題】FVCを現場レベルで実践する技術的な知識・経験を有する者や制度面でサポートする者が不足し、また、我が国の食品産業の海外展開等に結びついていない。

H30年度事業概要

○アジア生産性機構(APO)が各国と連携し、現場レベルでFVCを実践する中核的な技術者を育成するために、専門的な技術・制度等に関する各種研修等を実施。

中核的人材の育成や研修教材の作成を通じた
持続的かつ自立的なアジア諸国でのFVCの構築の推進

事業イメージ・具体例

○現場レベルでのFVC構築のために必要となる、以下の課題に対応するため、本邦及び現地研修を実施

- ・ 食品安全・品質の確保
- ・ 生産性の向上手法等の知識や技術等の普及・定着

本邦研修

○現場レベルで中核となる技術者を日本に招へい
○日本の先進的なFVCの実態や技術を学ぶ研修等を実施

現地研修

○日本から技術的専門家を派遣
○各国において、それぞれの状況に応じたワークショップや技術研修を実施し、本邦研修を受講した者も参加し、習得した技術や知見を共有



本邦研修



現地研修

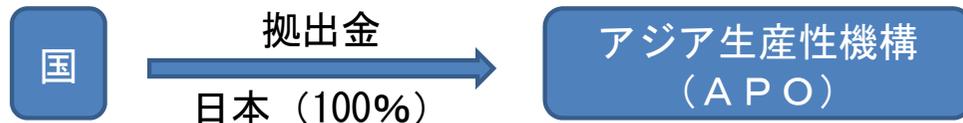


研修教材等作成(31年度～)

各国内における自立的な活動のため、研修教材等の作成や提供

自立的かつ
持続的な活動へ

資金の流れ



期待される効果

○食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等技術等の普及・定着が図られることで、FVCの構築が促進される。

○我が国食品産業の海外展開において障害となっていた品質管理等が改善されることで、我が国の食品産業の海外展開の促進に寄与する。